

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2013年2月7日～2月13日)

平成 25 年 (2013 年) 2 月 15 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
政治 ノヴィツカ下院副議長が留任 EU 多年度予算に対する議会の反応 野党PiSがトウスク政権に対する不信任決議案を提出 リンケビチュウス・リトアニア外相がポーランド訪問 ポーランド・コロンビア外相会談 コモロフスキ大統領、マリEU軍事訓練ミッションへのポーランド軍の参加を承認 オランダ外相がポーランド訪問 ポーランド外務省、北朝鮮の核実験に関し非難声明 米欧州MD計画の実効性に関する報道に政府要人が発言 ブトケビチュウス・リトアニア首相がポーランド訪問 シコルスキ外相がラトビアを訪問								【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。
経済 ポーランドが EU 次期多年度予算において最大の受益国となる 「連帯」が労働状況改善の要望書を提出 ポーランド農産品のロシアへの輸出が好調 ユーロ圏への輸出が減速 輸出産業が成長 ユーロlot社が路線を拡大 製造業は投資拡大の方向 ポーランド航空の大量解雇の予定が報じられる 2012年はポーランドの銀行にとって記録的な年 ポルエネルギー社のプウノツ発電所建設の入札に2社が残る 再生可能エネルギーの導入量が4,461MWに ガス・システム社が2014年に南北を結ぶガス・パイプラインの建設を開始 斗山バブコック・エネルギー・ポーランド社がポーランド市場で拡大								
大使館からのお知らせ 平成25年度分教科書の配布について テロの可能性に関する注意喚起 ヴロツワフにおける領事出張サービスについて ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事								
在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm								

政	治
内	政

ノヴィツカ下院副議長が留任【8日】

8日、下院において、ノヴィツカ下院副議長（「パリコト運動」）の解任決議案が採決され、反対多数で否決された。ノヴィツカ下院副議長は、下院幹部会から多額のボーナスを支給されていた件で、同副議長自身が所属する「パリコト運動」から批判を受けていた。

EU 多年度予算に対する議会の反応【10日】

8日、次期 EU 多年度予算が合意に達し、ポーランドが再び EU 補助金の最大の受益国となったことを受け、連立与党及び「パリコト運動」、民主左翼連合（SLD）は、ポーランドの成功と賞賛。他方、最大野党「法と正義」（PiS）は、農業セクターの利益を確保できなかったとして、交渉は失敗であったと批判。

野党PiSがトウスク政権に対する不信任決議案を提出【11日】

11日、野党PiSは、トウスク政権不信任決議案を下院に提出。コパチ下院議長は、同案の採決は3月7-8日になる見通しと発言。連立与党の他、「パリコト運動」及び SLD は、同不信任決議案には賛同しない方針を表明。

外	交
---	---

リンケビチュウス・リトアニア外相がポーランド訪問【6～7日】

6～7日、リンケビチュウス・リトアニア外相がポーランドを訪問、シコルスキ外相と会談。

ポーランド・コロンビア外相会談【6～7日】

7日、ポーランドを訪問中のオルギン・コロンビア外相はシコルスキ外相と会談。二国間関係、EU・コロンビア関係について協議し、両国の経済関係を強化していくことで一致した。

コモロフスキ大統領、マリEU軍事訓練ミッションへのポーランド軍の参加を承認【7日】

7日、コモロフスキ大統領は、先月29日に政府が提出していたマリEU訓練ミッションへのポーランド部隊派遣案に署名。2月16日から2013年末までの間、最大20名のポーランド兵が派遣される。

オランダ外相がポーランド訪問【11日】

11日、ティーマーマンス蘭外相がポーランドを訪問し、シコルスキ外相と会談、次期 EU 多年度予算、ウクライナとEUとの連合協定を含む EU 近隣諸国政策、オランダへのポーランド人移民問題等について協議。

ポーランド外務省、北朝鮮の核実験に関し非難声明【12日】

12日、ポーランド外務省は、北朝鮮による核実験を非難する声明を発表。

米欧州MD計画の実効性に関する報道に政府要人が発言【12日】

米国による欧州ミサイル防衛システムの実効性に関する9日付AP通信の報道に関し、12日にシコルスキ外相が米国の予算削減等の影響で全4段階の内、最終フェーズの計画実現は不透明と発言。コジェイ国家安全保障局長官は、かかる状況であるからこそ自国によるミサイル防衛システム構築が重要、と発言。他方、モル駐ポーランド米大使は、13日付ガゼタ・ヴィヴオルチャ紙上で、欧州ミサイル防衛システムに疑問はなく、開発は予定どおり進められている、と強調。

ブトケビチュウス・リトアニア首相がポーランド訪問【12～13日】

12～13日、ブトケビチュウス・リトアニア首相がポーランドを訪問、トウスク首相他と会談。在リトアニアのポーランド人問題、ポーランドとリトアニアを結ぶガスパイプライン、リトアニアのEU議長国就任、運輸網整備等について協議した。

シコルスキ外相がラトビアを訪問【13日】

13日、シコルスキ外相はラトビアを訪問、ドンブロウスキス首相、リンケービッチ外相他と会談し、バルト諸国とポーランドを結ぶガスパイプライン建設を含むエネルギー問題、安全保障等について協議した。

経 済

経済・財政政策

ポーランドが EU 次期多年度予算において最大の受益国となる【8日】

2014年－2020年EU多年度予算は、8日に欧州理事会において支出上限9,600億ユーロ、実行支出9,084億ユーロで合意に至った。ポーランドは次期予算において729億ユーロの結束基金(2007年－2013年予算では690億ユーロ)及び285億ユーロの共通農業政策(CAP)の補助金(同269億ユーロ)を含む1,055億ユーロ(約4,410億ズロチ)を獲得した。予算上限が380億ユーロ削減されたにも拘わらず、ポーランドに対する支援は45億ユーロ増加し、加盟国中最大のEU基金の受益国となった。

「連帯」が労働状況改善の要望書を提出【13日】

13日、自主管理労働組合「連帯」は、優先する要望項目をピエホチンスキ副首相兼経済大臣に提出した。同大臣は、先に政府と労働組合間の対話支援を宣言している。製造業、最低賃金、短期契約に関する要望や現在議会で審議されている労働時間法に対する意見が提起された。「連帯」指導者のピョートル・ドゥダ氏は、失業対策としてフレックスタイム導入が拡大すると見込まれる労働時間法は、経営者に従わざるを得なくなる状況となり労働者にとって有害である、と述べた。同氏は、「組合の国家委員会とピエホチンスキ経済大臣との協議を望んでいる」と述べるとともに、労働時間法に対する国民投票実施を呼びかけ、抗議活動やストライキも辞さない、と付言した。

マクロ経済動向・統計

ポーランド農産品のロシアへの輸出が好調【11日】

2012年のポーランド農産品のロシアへの輸出が前年比で約30%続伸し、約10億ユーロとなった。ロシアへの農産物輸出は、他の市場よりも2倍のペースで成長している。チーズは人気で11ヶ月連続で販売額が倍増している。ロシア市場への拡大は、西側の国々より価格が低いこと、米国産、豪州産に対して距離が近いことが競争力を高めている要因となっている。BGZの専門家は、「輸送経費が安く、冷凍肉の輸出も可能だろう」と述べた。

ユーロ圏への輸出が減速【12日】

ポーランド中央統計局(GUS)によれば、2012年のポーランドからユーロ圏への輸出は2年前と比較して減少した。2012年のユーロ建輸出総額は前年比3.8%増となる1,419.4億ユーロ、輸入は前年比0.6%減となる1,516.8億ユーロとなり、結果として97.4億ユーロの貿易赤字(2011年は159億ユーロの赤字)となっている。

ポーランド産業動向

輸出産業が成長【7日】

輸出産品を製造する企業は経済減速に大きな影響を受けず、いくつかの企業は生産や雇用の拡大を計画している。経済危機に最も抵抗力を示している産業はエネルギー及び鉄道分野である。Stadler社はベラルーシで受注した6両の鉄道車両の生産を開始する。シコルスキー・エアクラフト社の支配下にあるPZLMielec社は、22機のブラックホーク型ヘリコプターをサウジ・アラビア及びメキシコに輸出する。アルストム社のポーランド工場では、イタリアへの鉄道車両や、アムステルダムやブダペストの地下鉄車両を製造し、2014年第1四半期に新たに200人を雇用する。アルストム社はタービンも製造しており、9割は米国、アフリカ、アジアに輸出されている。ボンバルディア社のヴロツワフの工

場では輸出用の鉄道車両が製造されている。外国企業は低賃金で質の高いスタッフを採用できることから、ポーランドに工場を設けている。

ユーロlot社が路線を拡大【8日】

ポーランド航空(LOT社)役員会が国有航空会社の破産を救うためにもがいている中でユーロlot社は路線拡大を検討している。マリウシュ・ダンブロフスキ CEOによると、同社は主には国内路線を扱っているがバルト海沿岸地域のリゾート地への路線を開始することを決定した。ボンバルディアQ400は、5月4日から10月26日までワルシャワからドルトムント間、シヴィノウシチェ近くのヘリングスドルフ空港間を周航する。ユーロlot社は、国有財産省が62.1%の株式を所有し、残りの株はLOT社が

有している。LOT社は経営の梃子入れのために、ユーロlot社の株を売却する意向。

製造業は投資拡大の方向【11日】

2013年は一般的に悲観的な経済予測が出ているが、最近の調査では、ポーランドの製造業の38%は経済がこれ以上悪化するとは捉えておらず、56%が新規投資を行う予定と回答している。また、58%がポーランドにおける生産を拡大すると同時に47%は西ヨーロッパでの拡大を計画しており、生産を縮小するという回答はなかった。また、化学・製薬業界を中心に45%が2013年に新商品を導入予定である。

ポーランド航空の大量解雇の予定が報じられる【13日】

ラジオ PiN によると、「ポーランド航空(LOT社)が大量解雇に直面している。航空機乗組員や客室乗務員に斧が振るわれ、雇用継続を希望する者には25%の給与減額が提示される。1100人いるパイロットのうち450人が影響を受け、事務職員も1

000人のうち250人が削減対象となる。同社は全体雇用の3分の1にあたる700人を削減する意向である」と報じている。

LOT社報道官は、同局報道をすぐさまに否定し、「再建計画は現在、組合側と協議中であり、交渉は2月末まで続けられる。交渉を終えた後、どの程度の雇用が確保されるかを明らかにできる」と述べた。

2012年はポーランドの銀行にとって記録的な年【13日】

経済危機にも拘わらず、ポーランドの銀行は2012年に連結利潤で161億4千万ズロチを計上した。この数値は前年比6億ズロチ以上で支払能力比率も13.7%から14.8%に上昇した。好業績の要因として、Tier1(普通株式等の基本的な自己資本)比率が13.1%と西欧諸国の銀行の2倍になっており、さらに昨年1年間で300の支店が開設される一方、1,500の雇用を削減して経費削減を図られたことが挙げられる。

エネルギー・環境

ポルエネルギー社のプウノツ発電所建設の入札に2社が残る【6日】

クルチク・インベストメントの子会社であるポルエネルギー社のプウノツ(Polnoc)発電所(出力780~1050MWを2基、120億ズロチ以上の投資規模)建設に係る最終入札に、アルストム社及び上海エレクトリック・グループが残った。日立パワー・ヨーロッパ社とポリメックス・モストスタル社のコンソーシアムは辞退した。ポリメックス・モストスタル社は、コジェニツェ及びオポレの発電所建設を受注しており、大規模なプロジェクトの建設をこれ以上担う余力が同社にないことが今回の辞退に影響したと見られている。

再生可能エネルギーの導入量が4,461MWに【6日】

エネルギー規制局(URE)の発表によれば、ポーランドの再生可能エネルギーの導入量は、2011年から1,334MW増加し、4,416MWとなった。風力は、2,497MW、水力は966MW、バイオマ

ス・プラントは821MWとなっている。

斗山バブコック・エネルギー・ポーランド社がポーランド市場で拡大【6日】

斗山バブコック・エネルギー・ポーランド社がリブニクに新たにヘッド・クォーターとバック・オフィスの建設を開始した。また、他の都市にも新たな支店を開設することを計画している。現在、ヤヴオジノ及びヴロツワフにも支店を設けている。

ガス・システム社が2014年に南北を結ぶガス・パイプラインの建設を開始【12日】

ガス・システム社はポーランド北部シフィノウィシチェに建設中のLNGターミナルと、チェコ、スロバキア、ウクライナ及び南欧諸国とを結ぶガス・パイプラインの建設を2014年に開始する。当初の1,000km分の投資コストは約45億ズロチで、約3割をEU基金、2~3割をガス・システム社及び「ポーランド投資プログラム」による出資、残りを金融機関からの借り入れで支弁する方針。

大使館からのお知らせ

平成25年度分教科書の配布について

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、日本の小学生・中学生用教科書(平成25年度分)を配布いたします。今回の配布は、小学生用は前期分のみ、中学生用は通年分です。なお、ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配布されますので、今回の配布の対象とはなりません。お申し込み等の

詳細については、当館ホームページ(http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20130204.html)をご覧ください。

テロの可能性に関する注意喚起

1月16日、アルジェリアにおいてイスラム過激派武装集団によるとみられるテロが発生しました。今後、欧米等広域にわたり、同様のテロが発生する可能性があるため、外務省では注意喚起を行っております。詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2013C021>

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月9日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Wroclaw Panorama(Pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20121220.html

ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について

当館HP上に、「ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)」に関する情報を掲載いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/haga_pamphlet.pdf

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成25年3月31日(日)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【予定】フジコヘミング ポーランド シチエチンチャリティーコンサート

Kamieniec文化センター(シュチエチン市の郊外)にて、フジコヘミング氏によるチャリティー・ピアノコンサートが開催されます。

日程: 2月20日(水) 19:00~

開催場所: Kamieniec文化センター(住所: Kamieniec 27, Kolbaskowo, ホームページ: http://kamieniec-schoeningen.com/Dom_Kultury_Kamieniec/Kontakt.html)

問い合わせ先: J. P. Fantastica出版社(住所: ul. Podmiejska 2a, Szczecin-Mierzyn, 電話: 91-48-331-99)

Eメール: jpf@jpf.com.pl,

ホームページ: http://www.jpf.com.pl/index.php?content=cont_wydawnictwo.php&log=nie

【予定】「日本文化デー」 ワルシャワ・コスプレ大会 & 第1回高校生日本語スピーチコンテスト【2月24日(日)】

在ポーランド日本国大使館、ポーランド日本情報工科大学及び日本ポップカルチャー愛好会『アニマツリ』共催の総合日本文化紹介イベント「日本文化デー～ワルシャワ・コスプレ大会 & 第1回高校生スピーチコンテスト」が開催されます。その他、日本映画の上映会(英語字幕)、日本のポップカルチャーに関する講演会、ワークショップ(おにぎり、風呂敷、折り紙、そろばん、将棋など)も予定されます。詳細はこちらです:

コスプレ大会: http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_cosplay.html

スピーチコンテスト: http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_speech.html

日程: 2月24日(日) 10:00~18:00

開催場所: ポーランド日本情報工科大学(住所: Koszykowa 85, Warszawa、電話: 22 58 44 500、Eメール: pjwstk@pjwstk.edu.pl、ホームページ: <http://www.pjwstk.edu.pl/>)

【予定】柔道ワールドカップ・ポーランド大会【3月2日(土)~3日(日)】

ワルシャワ市にて、ポーランド柔道協会主催による柔道ワールドカップ・ポーランド大会が開催され、各国から選手が約500名参加する予定です。

問い合わせ先: ポーランド柔道協会(住所: Raclawicka 132, Warszawa、電話: 22 646 01 565、Eメール:

pzjudo@pzjudo.pl、ホームページ: <http://new.pzjudo.pl/>

開催場所: Hala Arena Ursynów (住所: ul. Pileckiego 122 Warszawa)

【開催中】「忠臣蔵。47人の浪人」浮世絵展示【11月30日(金)～4月20日(土)】

クラクフ日本美術技術博物館「マンガ」にて、浮世絵展示「忠臣蔵。47人の浪人」が開催中です。

問合せ先・開催場所:

「マンガ」日本美術技術博物館(住所: ul. Konopnickiej 26, Krakow, 電話: 12 267 37 53, Eメール: muzeum@manggha.krakow.pl, ホームページ: <http://www.manggha.krakow.pl/>)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)